

福生市環境基本計画実行計画

基本目標実現に向けた取組み

1章 自然の保全・再生

1節 自然の水循環、多摩川の保全・再生

 =市民事業

1.自然の水環境、多摩川の水質・水量の改善	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)河川水質調査の実施	19	環境課	年8回(7箇所)の実施		(3,381千円)
(2)流域下水道等の整備促進	19	都市計画課	多摩川流域下水道計画に基づき、下水道の整備を関係都市町と取組んだ。	多摩川流域下水道計画に基づき、下水道の整備を関係都市町と取組んだ。	84,320千円
(3)水質汚濁防止の啓発	19	都市計画課	正しい下水道の使い方啓発	下水道の使用方法的啓発	千円
(4)河川維持水量の確保	19	都市計画課	多摩川流域協議会の水環境部会で国土交通省とともに研究	多摩川流域協議会の水環境部会で国土交通省とともに研究	千円
(5)湧水地点の保護	19	環境課	未実施	市民との協働による調査を実施	140千円
(6)地下水脈の保全	19	環境課	未実施	市民との協働による調査を実施	140千円
(7)深層地下水の保全	20	環境課	都環境確保条例に基づく揚水量の報告時に適正利用を依頼した。		0千円

年8回(7箇所)実施	
多摩川流域下水道計画に基づき、下水道の整備を関係都市町と取組む。	
下水道の使用方法的啓発	
多摩川流域協議会の水環境部会で国土交通省とともに研究	
市民との協働による調査と報告書の作成	報告書に基づき保全計画策定
市民との協働による調査と報告書の作成	報告書に基づき保全計画策定
都環境確保条例に基づく揚水量の報告時に適正利用を依頼する。	

	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額
(8)雨水地下浸透施策の推進 (地下水のかん養)	20	土木課	従来雨水は速やかに排除するという考え方があったが雨水浸透方式を導入し流出抑制を図り、その効果として地下水を涵養することが水循環に有効である。このことから現在一部で実施している浸透性舗装を必要に応じて拡大させ浸透施策に取組んだ。	浸透性舗装を必要に応じて拡大させ浸透施策に取組んだ。	7,807千円
		都市計画課	一般宅地での雨水浸透ますの設置助成	一般宅地での雨水浸透ますの設置助成	336千円
(9)雨水の一時貯留、利用の推進	20	都市計画課	未実施	検討	千円
	20	総務課	新庁舎での雨水利用の検討	新庁舎での雨水利用の検討	0千円
	20	教育：庶務課	校庭の雨水排水の一部を浸透処理する。 H.13年度一中、 H.15年度七小	校庭の雨水排水の一部を浸透処理する。 三小校庭改良工事 (板状排水材399m)	8,757千円
(10)水循環の学習促進	20	環境課	新エネルギー市民会議において、雨水利用を検討し提言を受ける。	湧水探検隊による学習・調査の実施	140千円

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画
17年度取組と同様浸透性舗装を拡大する。	
一般宅地での雨水浸透ますの設置助成を行う。	
検討	* (8)雨水地下浸透施策の推進事業が終了後に取組む。
H18～19年度 新庁舎建設工事で雨水利用設備を導入、一部実施	H20年度新庁舎で雨水利用実施
校庭の雨水排水の一部を浸透処理する。 三小校庭改良工事 (透水管、浸透井設置)、 五小校庭改良工事 (板状排水材設置)	校庭の雨水排水の一部を浸透処理する。 二小校庭改良、 四小校庭改良
湧水探検隊による調査と報告書の作成	湧水探検隊による学習

市民事業

	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額
(1)多摩川流域一斉水質調査への参加	20	市民事業 (環境課)	全国一斉身近な川の調査実施	全国一斉身近な川の調査を実施	0千円
(2)湧水調査の実施	20	市民事業 (環境課)	未実施	市民との協働による調査	140千円
	20	市民事業 (都市計画課)	湧水地点の保護及び水辺の活用も含め、福生まちづくり景観会議により検討	引き続き、福生まちづくり景観会議により検討	千円
(3)雨水利用研究の実施	20	市民事業 (都市計画課)	未実施	未実施	千円
(4)雨水地下浸透型宅地、駐車場の普及	20	市民事業 (都市計画課)	未実施	未実施	千円

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画
全国一斉身近な川の調査を実施	
市民との協働による調査と報告書の作成	
未定	
未定	
未定	

2.多摩川の防災、河川生態系の保全	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)水害予防対策	21	環境課・総務課	地域防災計画修正版を作成	地域防災計画修正版に基づく水害予防	0千円
(2)河川防災施設の整備	21	都市計画課	国土交通省に要請	国土交通省に要請	千円
(3)防災意識の高揚	21	総務課	ホームページで災害情報等を提供し、意識の高揚に努めた。国土交通省の多摩川浸水想定や防災情報のPRを防災訓練等の機会に進めた。	HPで災害情報等を提供し、意識の高揚に努めた。	0千円

地域防災計画修正版に基づく水害予防	
国土交通省に要請	
HPで災害情報等を提供し、意識の高揚に努める。	

	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額
(4)歴史的河川土木施設の保全	21	社会教育課	市史編纂事業で資料の発見ができず、新しい資料の整理を行った。	新資料の整理	千円
(5)川の自然観察会、植生管理等の促進	21	環境課	環境フェスティバル、市民環境大学のプログラムの中で取組んだ。	環境フェスティバル、水辺の楽校「多摩川の達人になろう」講座で実施	(2,893千円)環境フェスティバル、水辺の楽校経費合算
(6)学習活動支援体制の整備	22	環境課・社会教育課・公民館	福生水辺の楽校を実施(全8回)	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」全10回 「多摩川の達人になろう」講座全12回 川の志民館の管理運	1,693千円
(7)生物調査の実施	22	社会教育課	未実施	未実施	千円

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画
新資料の収集整理	
環境フェスティバル、水辺の楽校「多摩川の達人になろう」講座で実施	
福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」全10回 「多摩川の達人になろう」講座全12回 川の志民館の管理運	
情報収集	関連部署との調整を含め19年度以降検討

市民事業

(1)治水史の研究	22	市民事業(社会教育課)	未実施	未実施	千円
(2)生態系調査・自然観察の展開	22	市民事業(環境課)	未実施	水辺の楽校運営協議会が「多摩川の達人になろう」講座を実施する中で調査等を行った。市、国土交通省が支援	(1,693千円)
(3)学習支援体制の強化	22	市民事業(環境課)	未実施	水辺の楽校運営協議会が実施した。市、国土交通省が支援	(1,693千円)
(4)河川清掃や植生管理の展開	22	市民事業(地域整備課)	ふっさ環境フェスティバルの中で市民ボランティア並びに横田基地内の軍人等により、多摩川中央公園付近の河川清掃を行った。参加人数310人、ゴミの量490kg(可燃140、不燃350)	ふっさ環境フェスティバルの中で市民ボランティア並びに横田基地内の軍人等により、多摩川中央公園付近の河川清掃を行った。参加人数147人、可燃ごみ若干、不燃ごみ130kg	0千円

未定	未定
水辺の楽校運営協議会が「多摩川の達人になろう」講座を実施する中で調査等を行う。市、国土交通省が支援	
水辺の楽校運営協議会が実施する。市、国土交通省が支援	
ふっさ環境フェスティバルの中で市民ボランティア並びに横田基地内の軍人等により、福生南公園及び付近の河川清掃を行う。参加人数209人、可燃ごみ90kg、不燃ごみ160kg	

2節 都市の自然の保全・再生

1. 4つの自然軸の保全	頁	担当課	取組結果		
			16年度取組	17年度取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

	(1)まとまった樹林地の公有地化	27	地域整備課	原ヶ谷戸緑地（仮称）新設事業設計委託、用地買収	原ヶ谷戸緑地（仮称）新設事業及び中福生公園拡張事業の実施	293,037千円
	(2)樹林地等の開発抑制・保全	27	都市計画課	玉川上水の緑地保全是、東京都景観条例により一定規模以上の建築物の建築や、土地の開発などに対して規制している。また、都市計画法に規定する都市施設として緑地を指定により保全。	玉川上水の緑地保全是、東京都景観条例により一定規模以上の建築物の建築や、土地の開発などに対して規制する。また都市計画法に規定する都市施設として緑地を指定により保全。	千円
			環境課	保存樹林地、保存樹木、保存生垣に対し奨励金を交付した。		4,914千円

未実施	新たな緑地確保について検討
玉川上水の緑地保全是、東京都景観条例により一定規模以上の建築物の建築や、土地の開発などに対して規制する。また都市計画法に規定する都市施設として緑地を指定により保全する。	
保存樹林地、保存樹木、保存生垣に対し奨励金を交付する。	

2.都市の自然生態系の再生	頁	担当課	取組結果		
			16年度取組	17年度取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)街区公園等の整備	28	地域整備課	街区公園の整備 公園維持工事を行い公園の整備を行った。	公園維持工事を行い公園の整備を行った。	14,025千円	公園維持工事を行い公園の整備を行う。予算12,462千円	
(2)公園緑地での自然再生事業の展開	28	地域整備課	市民参加による萌芽更新(古い木を伐採し、新しい木に更新すること)を文化の森で実施。毎月第3日曜日に草刈等活動を行った(34人)。南公園に熊川分水を利用したじゃぶじゃぶ	萌芽更新活動また、新たな萌芽更新場所の選定検討を行った。また南公園に熊川分水を利用したじゃぶじゃぶ池設置工事を行った。	23,100千円	萌芽更新また新たな萌芽更新場所の選定検討、ならびに毎月第3日曜日に活動を予定。また、視察、研修会の実施を予定。	萌芽更新の実施
(3)街中の小さな自然の創出	28	環境課	未実施		0千円	研究	
		地域整備課	未実施	未実施	千円	実施予定なし	21年度小公園での水辺の創出などビオトープの確保について研究する。
		教育：庶務課	福生中央ロータリークラブからの寄贈により、第6小学校校庭の一部にビオトープの池を設置。(この池の水は雨水を利用し、風力発電による動力で池の水を循環させる。学校ではこの池に蛍の幼虫を放し、夏には蛍を飛ばして行きたい。学校、保護者、地域の方などの協力により維持する。)	第6小学校のビオトープを維持	0千円	第六小学校のビオトープを維持	
(4)生態系に配慮した緑の管理	29	地域整備課	未実施	未実施	千円	実施予定なし	20年度生態系に配慮した緑の管理について調査検討。
(5)生態系の調査・研究の推進	29	環境課	未実施		0千円	研究	
		社会教育課	未実施	未実施	千円	情報収集	19年度以降検討

	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額
(6)自然のしくみの理解	29	環境課	未実施	未実施	0千円
		社会教育課	未実施	企画展示「福生の雑木林」4/16～6/19開催	100千円
(7)学習活動支援体制の整備	29	環境課	市民環境大学を実施	市民環境大学を開校多摩川の達人講座の実施	594千円
		社会教育課	未実施	史跡見学会・体験学習の開催	60千円

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画
市民環境大学で「緑（緑地）の今と昔」を学習する。	市民環境大学のなかで自然のしくみの理解へ向けた学習会を実施する。
自然観察会の実施	
市民環境大学を開校多摩川講座の実施	
史跡見学会・体験学習の開催	

市民事業

(1)萌芽更新活動への参加	29	市民事業（地域整備課）	雑木林の再生を目的とし、積極的に手を加えるという緑地保全・再生の考えのもとに、樹木伐採、下草刈、モヤワケ等の保全活動を行った。及び会議、作業、研修、学習会等の実施	雑木林の再生を目的とし、積極的に手を加えるという緑地保全・再生の考えのもとに、樹木伐採、下草刈、モヤワケ等の保全活動を行った。及び会議、作業、研修、学習会等の実施	200千円
(2)市民による緑の管理・自然観察会の開催	29	市民事業（地域整備課）	落ち葉や生垣等の剪定枝の堆肥化、明神下公園に落ち葉のストックヤード（落ち葉の集積所）の設置	落ち葉のストックヤードをさくら公園に設置した。	300千円
		市民事業（社会教育課）	未実施	郷土資料室自然観察会において一部市民による説明を行った。	千円
(3)生物カレンダーの作成	29	市民事業（社会教育課）	未実施	未実施	千円
(4)事業所緑地の市民開放	29	市民事業（都市計画課）	未実施	未実施	千円

雑木林の再生を目的とし、積極的に手を加えるという緑地保全・再生の考えのもとに、樹木伐採、下草刈、モヤワケ等の保全活動を行った。及び会議、作業、研修、学習会等の実施	
ストックヤードの設置、地域の草花樹木選び及び植栽管理を行う公園ボランティア制度を引き続き募集する。	21年度公園内の田んぼやビオトープ管理について調査検討する。
郷土資料室自然観察会において一部市民による説明を行う。	市内自然愛好団体と合同自然観察会実施の検討をする。
情報収集	検討課題である生物調査実施時に検討予定
未定	

2章 潤い豊かな安心できるまちの創造

1節 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり

1.景観まちづくり	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)景観条例等の制定	33	都市計画課	市民による福生まちづくり景観会議により、福生市の現状と課題の整理を行い、目標とする景観像を設定し、市民・事業者と共に取組む施策を整理し、基本計画を実現するための手法や、しくみ支援制度についての検討を行い、市民プランをまとめた。	庁内検討会において、福生市まちづくり景観条例の検討、福生市まちづくり景観基本計画の策定	2,835千円
		環境課	玉川上水散策絵図の作成	玉川上水散策絵図の配布	0千円
		都市計画課	自然・歴史・文化的景観等を含めて、福生まちづくり景観会議により検討	自然・歴史・文化的景観等を含めて、福生まちづくり景観会議及び庁内検討会において検討	千円
(2)自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	33	土木課・地域整備課	平成15年度に玉川上水など歩行ルート案内板、埋め込み式案内板の設置。市内を南北に流れる玉川上水に沿って散策出来るように誘導案内板及び周辺の施設と表示した案内図を設置（土木課）	玉川上水散策コースの第2ルート及び第3ルートの案内板等設置（地域整備課）	3,444千円

福生市まちづくり景観基本計画の内容を取り入れた条例を制定	福生市まちづくり景観基本計画を基に、各種団体との協働により景観づくりを進めていく。
玉川上水散策絵図の配布	
未定	

	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額
(3)屋外広告物の規制	33	土木課	違反屋外広告物の規制、指導、撤去を行った。福生市違反広告物撤去協力員の講習会を実施し撤去活動を実施。	昨年度に引き続き違反屋外広告物の撤去活動を実施	0千円
(4)清潔で美しいまちの維持	33	環境課	人と動物の共生市民会議にて検討、ごみ減量等推進委員の活動、ごみゼロデー（町会・自治会一斉清掃）を実施した。	人と動物共生市民会議からの答申を受けて、地域ネコを考えるふっさ市民会議の開催。福生地域ネコの会設立支援	0千円
		都市計画課	環境美化も含め、福生まちづくり景観会議の開催	未実施	千円
		地域整備課	市民等ボランティアにより河川敷公園の清掃。また公園のごみ不法投棄早期除去及び看板等による美化等呼びかけた。	ボランティアによる河川敷公園の清掃を実施した。また、公園のごみ不法投棄早期除去及び看板等による美化等呼びかけた。	0千円
		土木課	市民による環境美化活動への支援をした。熊川地区の分水清掃で発生したゴミ、土砂等の回収を実施	市民による環境美化活動を支援し、熊川地区の分水で清掃したごみ、砂利等の回収を実施	200千円

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画
17年度の取組と同様撤去活動を実施する。	
地域ネコ制度開始（去勢・不妊手術への助成）。ごみ減量等推進委員の活動。ごみゼロデー（町会・自治会一斉清掃）を実施する。	
未定	
ボランティアによる河川敷公園の清掃を実施する。また、公園のごみ不法投棄早期除去及び看板等による美化等呼びかける。	
市民による環境美化活動を支援し、熊川地区の分水で清掃したごみ、砂利等の回収をする。	

市民事業

	頁	担当課	取組結果			18年度以降の計画	
			16年度取組	17年度取組	17年度決算額	18年度計画	19年度～20年度計画
(1)福生らしい景観の調査	34	市民事業 (都市計画課)	市民による福生まちづくり景観会議により、福生市の現状と課題の整理を行い、目標とする景観像を設定し、市民・事業者と共に取り組む施策を整理し、基本計画を実現するための手法や、しくみ、支援制度についての検討を行い、市民プランをまとめた	市民プランを基に庁内検討委員会において検討し、福生市まちづくり景観基本計画を策定	千円	未定	
(2)環境美化活動の展開	34	市民事業 (環境課)	ごみ減量等推進委員が清掃活動を行った。実行委員会形式で喫煙マナーアップの活動も行った。		300千円(喫煙マナーアップ)	ごみ減量等推進委員が清掃活動を行う。実行委員会形式で喫煙マナーアップの活動も行う。	
(3)商店街等での景観協定	34	市民事業 (地域振興課)	福生商店街協働組合がガーデンポットの設置など、景観や雰囲気づくりに努めた。	ガーデンポットの設置など、景観や雰囲気づくりに努めた。	0千円	未定	未定

2.玉川上水などを活かしたまちづくり	頁	担当課	取組結果			18年度以降の計画	
			16年度取組	17年度取組	17年度決算額	18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)玉川上水沿いの遊歩道化	35	土木課	玉川上水沿い遊歩道の確保連続化について管理団体に対し要望、市内を縦断する玉川上水は4.2kmあるが遊歩道として整備されていない部分について今後も整備に向けて検討	玉川上水沿いの遊歩道の確保連続化についての管理団体に対し要望	0千円	遊歩道化実現可能区間については、関係機関と調整を図り整備に向けて検討する。	
----------------	----	-----	--	--------------------------------	-----	---------------------------------------	--

	頁	担当課	取組結果			18年度以降の計画	
			16年度取組	17年度取組	17年度決算額	18年度計画	19年度～20年度計画
	35	社会教育課	未実施	情報収集	千円	都水道局玉川上水保存ガイドライン作成中であるため、作成後検討予定。	19年度以降検討
(2)散策路のネットワーク化	35	土木課	国の史跡指定を受けた玉川上水沿いの緑を始めとする下の川緑地、多摩川緑地等を基軸としてこれらに結節する主要な施設との散策路のネットワーク化を目指した。	下の川緑地、多摩川緑地等を基軸としてこれらに結節する主要な施設との散策路のネットワーク化を目指した。	0千円	下の川緑地、多摩川緑地等を基軸としてこれらに結節する主要な施設との散策路のネットワーク化を目指す。	
(3)熊川分水を活かすまちづくり	35	土木課	熊川神社脇の熊川分水を取り込んだ延長約100mの区間をモデル地区として整備を行うための実施設計を行った。	分水を活かしたまちづくりに向けて環境整備に取組んだ。	14,889千円	未定	モデル地区として整備地区を精査していく
		公民館	前年度講座を契機に「熊川分水に親しむ会」が発足し、分水及び周辺景観の保存会の組織化に向けた支援を実施	熊川分水に親しむ会と白梅会館との共同企画により、視察と歴史学習からまちづくりと環境保全を深めた。1.日野用水の見学、2.熊川村の歴史を訪ねる、3.分水の完成への村民の努力と当時の近隣の様子	50千円	自主グループ・市民活動への公民館の一般援助	

市民事業

(1)散策路ルート調査	35	市民事業(環境課)	市民が玉川上水散策絵図作りに取組み、印刷費を計上した。	玉川上水散策絵図の配布	0千円	玉川上水散策絵図の配布	
-------------	----	-----------	-----------------------------	-------------	-----	-------------	--

2節 安心して歩ける道・都市施設の整備

1. 安心できる道路・都市施設の整備	頁	担当課	取組結果		
			16年度取組	17年度取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1) 地域バリアフリーの推進	39	社会福祉課	バリアフリー推進計画に基づき事業の推進（福生駅西口駐車場、柳通り改良事業、福生駅バリアフリー事業、二中ランチルーム事業など）	バリアフリー推進計画に基づき事業の推進（柳通り改良事業、新庁舎検討、拝島駅自由通路整備事業、三中ランチルーム事業、公園便所改築事業、市民会館等改修工事、東福生駅便所改良工事など）	柳通り改良工事 56,631千円、新庁舎実施設計101,769千円、拝島駅自由通路 136,894千円、三中ランチルーム事業 236,434千円、公園便所改良6,479千円、市民会館等改修工事 373,769千円、東福生駅便所改良工事8、
(2) 緑の軸・地域バリアフリーの軸としての幹線道路の整備	39	都市計画課	国・都に対し早期整備要望活動を実施	多摩地域における都市計画道路の整備方針による第三次計画策定	千円
(3) 中心商業地区の安全化・快適化	40	地域振興課	福生市商店街振興プランの推進	福生市商店街振興プランをより推進	5,953千円
(4) 生活道路の安全化	40	土木課	安全化に向けた道路改良。一般の交通の用に供する道路、とりわけ安全対策については交通安全施設を整備。道路改良を必要とする安全化については地域の状況等考慮しながら取組んだ。	安全化に向けた道路改良をより進めた。	17,950千円

バリアフリー推進計画に基づき事業の推進（新庁舎工事、拝島駅自由通路整備事業など）	バリアフリー推進計画に基づき事業の推進（新庁舎工事、拝島駅自由通路整備事業など）
国・都に対し早期整備要望活動を実施	
福生市商店街振興プランをより推進	
安全化に向けた道路改良をより進める。	

	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額
(5)道路美化ボランティア制度の導入	40	土木課	道路という公共施設を安全に利用するための適正な管理を実施した。協働して地域と一緒に取組みが可能な事業があり、地域が参加できる場を設け、市民と市が協働のまちづくりを目指した。	道路という公共施設を安全に利用するための適正な管理を実施するとともに、協働して地域と一緒に取組みが可能な事業があり、地域が参加できる場を設け、市民と市が協働のまちづくりを目指した。	千0円
(6)住宅の耐震化の促進	40	都市計画課	補助の検討は未実施だが、耐震の診断及びPR事業を行った。	耐震の診断及びPR	0千円

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画
18年度早々に市民公募を行い市民と市が協働でまちづくりを目指す。	
国庫補助を受け、福生市耐震改修促進計画を策定。耐震診断助成事業の実施要綱を作成。	新耐震基準以前の木造戸建住宅に対し、耐震診断費用の一部を助成する。耐震改修に対する助成の検討。

市民事業

(1)街並みのバリア調査	40	市民事業 (社会福祉課)	連合西多摩による「福祉体験学習会」で市の中心街のバリアについてチェック。市は車椅子を貸し出した。	バリアチェックの実施	0千円
(2)地域通貨等の導入	40	市民事業 (地域振興課)	未実施	未実施	0千円
(3)商店街による取組みの促進	40	市民事業 (地域振興課)	商店街によるベンチの設置、プランターの設置	未実施	0千円

バリアチェックの実施	未定
未定	未定
未定	未定

2. 緑豊かな優れた居住環境づくり	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)住宅や事業所などの緑化	41	環境課・地域振興課	保存樹林、保存樹木、保存生垣奨励金の交付、花いっぱい運動の実施		保存樹林等 4,914千円、草花苗生産委託 7,216千円	
		都市計画課	宅地開発等指導要綱により一定規模以上の宅地開発において、公園・緑地用地の確保及び緑化指導を行った。	公園・緑地用地の確保及び緑化指導		千円
		地域整備課	未実施	未実施		千円
(2)公共施設等の緑化	41	総務課	未実施	新庁舎建設計画のなかで検討		0千円
		都市計画課	宅地開発指導要綱の基準に基づき、緑地を確保した。	宅地開発指導要綱の基準に基づき緑地を確保した。		千円
		地域整備課	未実施	未実施		千円
(3)農地(生産緑地)の保全・確保・活用	41	地域振興課	農地管理月間を5月・9月と定め、年2回農地パトロールを実施	肥培管理指導の徹底		0千円
		環境課	農業団体と協議	市民体験農園の検討		0千円

保存樹林、保存樹木、保存生垣奨励金を交付、花いっぱい運動の実施と見直し作業	
公園・緑地用地の確保及び緑化指導	
未定	21年度小公園等を利用した枝木、落ち葉・草のリサイクルの推進について調査、研究
H18～19年度 新庁舎建設工事で緑化を図る。	H20年度 新庁舎で緑化を推進
宅地開発指導要綱の基準に基づき緑地を確保する。	
計画なし	21年度どんぐり銀行による実生、成長樹木の公園・学校・公共施設への植栽について調査、研究
農地管理月間を5月・9月と定め、年2回農地パトロールを実施	
市民体験農園の検討	

	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額
(4)市民による公園等の維持管理の促進	42	地域整備課	公園整備、改修時の市民ワークショップの開催、公園ボランティア制度の確立（57人、1団体）、萌芽更新の実施（34人）	公園等の維持管理の促進、公園ボランティアの普及	0千円

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画
公園等の維持管理の促進、公園ボランティアの普及活動	

市民事業

(1)都市農業の継承	42	市民事業（地域振興課）	農業視察研修を計画し、市内の農業者等を募り研修を実施、情報収集を行った。	市民体験農園の研修視察	0千円
		市民事業（環境課）	未実施	未実施	0千円
(2)まちづくりNPOの立ち上げ	42	市民事業（都市計画課）	未実施	未実施	千円
(3)公園ボランティア制度による管理	42	市民事業（地域整備課）	小公園の維持・管理などを行う公園ボランティア制度に参加。平成16年4月1日から公園ボランティア制度の発足。（57人、1団体）	公園ボランティア制度の普及。25公園：271人、4団体が登録。	300千円
(4)緑地指導の促進	42	市民事業（地域整備課）	事業者組合は、住宅地等の緑化や、生垣管理の講習会の実施。剪定講習会の実施	市内造園業者の協力により、樹木剪定講習会を実施した。わらつけ公園19人参加	0千円

農業視察研修を計画し、市内の農業者等を募り研修を実施、情報収集を行う。	
未定	
未定	
公園ボランティアの普及を行っていく。	
市内造園業者の協力により、樹木剪定講習会を予定。	

3章 暮らし方の変革・地球システムへの適合

1節 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進

1. ごみの発生抑制・処理負担の適正化	頁	担当課	取組結果		
			16年度取組	17年度取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)ごみ問題の情報提供・行動計画の策定	47	環境課	清掃だよりの発行、各種イベントでの情報提供	清掃だよりの発行、行動計画の検討	2,149千円
(2)ごみを減らす生活の呼びかけ	47	環境課	清掃だより等による呼びかけ	清掃だより等による呼びかけ、地元説明会の実施	0千円
(3)排出者負担者の明確化による発生抑制	47	環境課	事業系一般廃棄物の処理手数料を値上げ。20円 30円/kg	排出者負担の検討	99,480千円
(4)拡大生産者責任に基づく事業活動への呼びかけ	47	環境課	文書による排出量調査の実施	事業所への個別調査	0千円

清掃だよりの充実	
出前講座等の実施	
事業者へ減量の呼びかけ	
事業所に対して粘り強く減量を呼びかける	

市民事業

(1)グリーンコンシューマー活動の展開	48	市民事業(環境課)	平成15年度「エコショップガイド」作成	未実施	0千円
(2)事業活動のグリーン化	48	市民事業(環境課)	未実施	未実施	0千円

未定	
未定	

2.資源化・適正処理のためのシステム構築	頁	担当課	取組結果		
			16年度取組	17年度取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)分別による資源化・危険物等適正処理の徹底	49	環境課	15年度に分別マニュアルを作成し配布。容器・包装プラスチックの資源化について検討	容器・包装プラスチックの資源化への地元説明会の実施	0千円
(2)生ごみ資源化システムの構築	49	環境課	生ごみ処理機補助 8年度から562基	生ごみ処理機補助	1,050千円
(3)枝木の資源化		環境課	枝木のチップ化促進		443千円
(4)廃プラスチック類の利用・処理の研究	50	環境課	容器・包装プラスチックの資源化を検討	容器・包装プラスチックの資源化への地元説明会の実施	0千円
(5)地域リサイクルシステムの強化	50	環境課	拠点回収箇所の充実		0千円
		地域振興課	多摩川中央公園で年4回のガレージセールを実施	17年度中に協働事業に移行	206千円
(6)適正な中間処理、最終処分の推進	50	環境課	容器・包装プラスチックの資源化を検討	容器・包装プラスチック回収のため貯留棟の改良工事を行った。	1,237千円

容器・包装プラスチックの資源化実施	分別の徹底
市民に対してPRを徹底する	
枝木のチップ化促進	
容器・包装プラスチックの資源化実施	容器・包装プラスチックの回収日の増加
拠点回収箇所の増設	
協働事業として実施	未定
東京たま広域資源循環組合でエコセメント化事業を開始、容器・包装プラスチックの資源化実施。	

市民事業

(1)生ごみ堆肥化に向けた学習活動	50	市民事業(環境課)	ごみ減量プロジェクト	ごみ減量プロジェクトにて学習活動を進めた。	0千円
(2)フリーマーケット等の開催	50	市民事業(地域振興課)		17年度中に協働事業に移行予定	77千円
(3)食品リサイクルの推進	50	市民事業(環境課)	未実施	未実施	千円
(4)事業所の資源回収の集団化	50	市民事業(環境課)	未実施(現在、認めていない。)	未実施	千円

ごみ減量プロジェクトにて学習活動を進める。	
協働事業として年4回実施する	未定
未定	
未定	

2節 地球環境問題・公害等への取組

1.地球温暖化への取組	頁	担当課	取組結果		
			16年度取組	17年度取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)地球温暖化防止対策の枠組みの明確化	54	環境課	福生市地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出量を削減、福生市地域新エネルギービジョンを策定	福生市地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出量を削減、福生市新エネルギー詳細ビジョンの策定	6,799千円
(2)省エネルギー・省資源の促進、クリーンエネルギーへの転換	54	環境課	新エネルギービジョンの策定の中で検討	福生市新エネルギー詳細ビジョンの策定	6,799千円
	54	総務課	新庁舎の基本設計のなかで検討	太陽光発電、地熱利用、コジェネ、屋上緑化、雨水再利用などの検討	0千円
(3)自動車公害対策・低公害型自動車の普及	54	環境課	公用車の低公害車への更新	公用車の低公害車への更新を促進	千円
(4)自転車のまちづくり	55	環境課	未実施	未実施	千円
(5)公共交通機関の利用促進	55	企画調整課・秘書広報課	市内循環バスに関しては、導入検討調査報告書の検討。また、JRを含む公共交通機関の利用促進のための利便性向上に向けて、関係する協議会等を通して要請。	市内循環バスについては、導入検討調査報告書の結果より、費用対効果の面から、今後は高齢者等交通弱者を支援するための福祉交通網の導入について検討。また、JRを含む公共交通機関の利用促進のための利便性向上に向けて、関係する協議会等を通して要請。	115千円 (基地渉外相当執行分)

福生市地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出量を削減、環境ビジネス等への支援	地域のCO2削減プログラムの具体化、福生市地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出量を削減
環境ビジネス等への支援	地域のCO2削減のため省エネルギー、新エネルギーなどへの転換促進
H18～19年度 新庁舎建設工事で太陽光発電、地熱利用、コジェネ、屋上緑化、雨水再利用などの設備を導入、一部実施	H20年度 新庁舎で太陽光発電、地熱利用、コジェネ、屋上緑化、雨水再利用などを実施
公用車の低公害車への更新を促進	
研究	
高齢者等交通弱者を支援するための福祉交通網の導入について検討していく。また、JRを含む公共交通機関の利用促進のための利便性向上に向けて、関係する協議会等を通して要請していく。	

市民事業

	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額
(1)地球温暖化防止等の活動展開	55	市民事業 (環境課)	新エネルギービジョン市民会議で市民提言発表	福生エネルギー市民会議で事業化の検討	千円
(2)省エネルギー・新エネルギー機器の普及活動	55	市民事業 (環境課)	新エネルギービジョン市民会議で市民提言発表	福生エネルギー市民会議で事業化の検討	千円

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画
エスコ事業、市民発電等への参加、打ち水大作戦の実施。	
エスコ事業、市民発電等への参加	

2.公害防止・有害化学物質対策	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)公害防止対策の推進	56	環境課	各種分析委託、各種苦情処理		3,381千円
(2)有害化学物質対策の推進	56	環境課	都環境確保条例に基づき報告を指導するとともに、適正管理を要請		0千円

各種分析委託 各種苦情処理	
都環境確保条例に基づき報告を指導するとともに、適正管理を要請	

市民事業

(1)有害化学物質情報等の提供	57	市民事業 (環境課)	未実施	未実施	0千円
-----------------	----	---------------	-----	-----	-----

未定	
----	--

第3部 計画の推進・環境まちづくりの展開

1. 環境教育・学習の推進	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1) 学校における環境教育の推進	62	環境課	環境学習教員研修を実施(4日間)	環境教育推進大綱の策定 環境学習教員研修を実施(4日間)	70千円
		指導室	環境課の教員研修事業を支援		(70千円)
(2) 地域・市民の環境学習の推進	63	環境課	全10回の市民環境大学を実施	市民環境大学を実施	594千円
		公民館	夏休み子ども草笛教室、夏休み自然体験教室	夏休み子ども草笛教室6回実施予定・多摩川中央公園、夏休み自然体験教室	410千円
(3) 市民によるまちづくり活動への支援	63	公民館	「身近な自然を大切にしたまちづくり」シンポジウム、自然体験活動指導者講習会、春休みバードカービング教室、身近な環境を考える講座「わが街の景観に思いを！」の実施	環境教育実践リーダー研修会 6回。ネイチャークラフト5月～6月 6回。身近な環境を考える講座「ゴミ問題から循環型社会を考える」の実施	175千円

環境学習推進大綱の策定、環境学習教員研修の実施(4日間)	
環境課の教員研修事業を支援	
市民環境大学を実施	
夏休み自然体験教室	
主催講座を開設し地方自治のあり方を考える機会を創出する。	

2.パートナーシップの確立	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)市民による環境のまちづくり活動への支援	64	環境課	環境フェスティバル、花いっぱい運動を実施。各種市民会議への支援		フェスティバル1,200千円、草花苗生産委託 7,216千円
		地域整備課	萌芽更新	萌芽更新	0千円
		都市計画課	景観市民会議の開催	福生市まちづくり景観基本計画を策定。市民活動への支援策を検討。	千円
(2)市の政策決定・事業における市民参加の促進	65	企画調整課	各種施策に市民が積極的に参加できるよう施策の策定段階において担当課に依頼	各種施策に市民が積極的に参加できるよう施策の策定段階において担当課に依頼	158千円(まちづくりフォーラム事業費)
		協働推進課・各課	協働施策の推進にあたり公募市民により組織された協働推進市民研究会を支援。輝き市民サポートセンターの開設にあたり市民によるワークショップのあり方を考える懇談会を設置し、市民参加を促進。市民編集員との協働により男女共同参画情報誌を3回発行した。	輝き市民サポートセンターの開設。男女共同参画行動計画(平成18～22年度)を策定するにあたり、公募市民による懇談会を設置し、計画に対するアドバイス、意見などを受け。市民編集員との協働により男女共同参画情報誌を3回発行した。	輝き市民サポートセンター運営費 8,176千円、男女共同参画情報誌委託料 1,290千円、男女共同参画行動計画印刷製本費 174千円

環境フェスティバル、花いっぱい運動を実施。各種市民会議への支援	
引き続き萌芽更新活動を行っていく	
福生市まちづくり景観基本計画の内容(支援策を含む)を取り入れ、景観条例を制定する。	景観条例により、市民活動に対し、支援していく。
各種施策に市民が積極的に参加できるよう施策の策定段階において担当課に依頼	
・市民講師による講座を実施し市民の社会参加を進める。 ・輝き市民サポートセンターの運営 ・男女共同参画情報誌発行 ・男女共同参画第4期行動計画策定に向けた市民啓発事業として実態調査、意識調査を市民参加のワークショップにより実施。	輝き市民サポートセンターの運営のあり方について検討。男女共同参画行動計画(平成23～27年度)の協働による策定のための市民啓発事業の実施。

3. 計画推進体制の確立	頁	担当課	取組結果		
			16年度の取組	17年度の取組	17年度決算額

18年度以降の計画	
18年度計画	19年度～20年度計画

市の具体的取組

(1)環境情報の収集・提供	67	環境課	かんきょう通信の発行（年4回）	かんきょう通信の発行 福生市環境白書を発行	1,274千円
(2)(仮称)福生環境ネットワークの設置・支援	67	環境課	未実施	環境情報プロジェクトが環境情報の提供に努める中で、ネットワーク化を研究	0千円
(3)環境審議会の開催	67	環境課	環境基本計画実行計画について審議	環境基本計画の取組み状況について評価した。	85千円
(4)実施状況の公表	67	環境課	未実施	環境白書の発行（庁内印刷）	0千円
(5)事業所としての率先行動の推進	67	環境課	地球温暖化対策実行計画の推進、環境マネジメントシステム構築の研究。新エネルギービジョンにおいて新庁舎は環境に配慮する施策が提言された。	環境マネジメントシステムの検討、地球温暖化対策実行計画の推進	0千円

かんきょう通信の発行 福生市環境白書を発行	
環境情報プロジェクトが環境情報の提供に努める中で、ネットワーク化を研究	
環境基本計画の取組み状況について評価する。	
環境白書の発行（庁内印刷）	
環境マネジメントシステムの検討、地球温暖化対策実行計画の推進	